

新宿ターミナル協議会（第6回） 議事録

1. 日時・場所

平成 29 年 3 月 23 日（木）13 時～14 時，都庁第二本庁舎 31 階 特別会議室 22

2. 出席者

別紙 参加者名簿のとおり

3. 議題

(1) 報告事項

- ① 高精度測位社会プロジェクトについて
- ② 配布用マップの試験提供について
- ③ エレベーター・階段マップの作成について

(2) 整備計画のとりまとめについて

4. 配布資料

- ・ 議事次第
- ・ 資料 1 高精度測位社会プロジェクトについて
- ・ 資料 2 配布用マップの試験提供 実施報告
- ・ 資料 3 エレベーター・階段マップの作成について
- ・ 資料 4-1 整備計画（案）
- ・ 資料 4-2 整備計画 別冊 サイン計画（案）
- ・ 資料 5 整備計画【概要版】（案）
- ・ 参考資料 案内サインの現地検証の実施について

5. 挨拶

[座長 岸井隆幸教授]

ターミナル協議会の設立から 2 年、第 6 回目の開催となりました。この間、様々なご協力をいただきましてここまで進んできました。昨年度は基本的なルールをご承認いただきました。今年度はそれに従って具体的な取組、あるいは配布用マップの実験的配布、また ICT を使用した実証実験などを行ってまいりました。いよいよ来年度から本格的な運用に入ります。関係各位のご協力によりここまでまいりましたが、さらに 1 段進んだ内容でお願いできればと思います。今回は、連携して取り組むための整備計画について議論をしたく、どうぞよろしくお願いたします。

6. 意見交換

国土交通省国土政策局国土情報課：今年度、3基の準天頂衛星の打ち上げが予定されており、4基体制となります。高精度測位社会プロジェクトはこの新宿駅周辺、東京駅周辺、成田空港、日産スタジアムで行っておりますが、大変盛り上がっております。この新宿駅およびバスターミナルは、全国各地の結節点であり、大勢の方々が訪れる場所です。ご案内のように、世界各国からオリンピック・パラリンピックに向けてますます大勢の方が来られ、この新宿をお手本にすることになります。いかに経済発展や安全対策を行っていくかということについて、この会議の場で色々と議論させていただければと思います。

(国土交通省国土政策局国土情報課より資料説明 資料1)

(事務局より資料説明 資料2、3)

岸井隆幸座長： 配布いただいたマップは、修正点が反映されているという理解でよろしいですか。

都市整備局都市基盤部交通プロジェクト担当課長(事務局)： 両マップとも修正を加えたものとなります。

岸井隆幸座長： 高精度測位社会プロジェクトは、来年度新宿について何か行う予定はありますか。

国土交通省国土政策局国土情報課： 現段階では具体的に何を行うかまでは申し上げられません。例えば、障害者向け移動支援情報の実証ということがございます。今年度、新宿ターミナル協議会と連携して車いす使用者の方々にヒアリング等を実施したこともあり、こういった取組を拡充できないかといったことは考えています。

赤瀬専門アドバイザー： 高精度測位社会プロジェクトが新宿で行ったことの中で、発見や良かった点等があれば改めてご紹介いただけますか。

国土交通省国土政策局国土情報課： 今年度4箇所を実施し、全体としての意見はいただいておりますが、新宿に特化した内容というのは現在整理中です。障害当事者の方からは、スマートフォンなど紙以外の媒体で、車いすでも通行できるルートが示される等が将来的に実現すればうれしいというお声はいただきました。一般の方々からも、新宿のように入り組んでいる場所で自分の位置がわかればうれしいというご意見はいただいております。

(事務局より資料説明 資料4-1、4-2、5)

岸井隆幸座長： Wi-fi環境について以前話が出ていましたが、進んでいるという理解でよろしいでしょうか。

都市整備局都市基盤部交通プロジェクト担当課長（事務局）： 基本的にはそういうことになるかと思います。国が主導して ID の効率化を進めているとのことで、その中で垣根を越えて利用しやすいようにされていると理解しています。

岸井隆幸座長： では整備計画案についてご意見いかがでしょうか。基本的には昨年作った基本ルールをベースにして各事業者の方と調整しながらここまで来たということなので、了解済みということかと思いますが、全体で議論をする機会はこうした場のみなので、新宿駅全体について何かあればお願いいたします。資料 4-2 の中に周辺案内図がありますが、5分と10分で歩ける距離というのは250mと500mということでしょうか。

都市整備局都市基盤部交通プロジェクト担当課長（事務局）： 5分で歩ける距離については250mで同心円を記載しています。

岸井隆幸座長： マップにはそのように記載されているのでそうかと思いますが、そうした点も理解しておいたほうがよいと思います。不動産の広告などで使用されるのは分速80mが多いようですが、縦方向の移動もありますし、分速50mとなっているということでしょう。

都市整備局都市基盤部交通プロジェクト担当課長（事務局）： 地下から地上の移動等、必ずしも直線的に動けるわけではないので、少し余裕をみた時間設定としています。

赤瀬専門アドバイザー： 参考資料にて色彩について現地確認を行ったとあります。この案内サインにおいて色彩は、とても重要な役割を果たしています。メトロや西口、京王の地下で、それぞれ色合いが異なるとなると連続性が保たれなくなり効果を発揮できなくなるので、ぜひ慎重に検証し、全域共通に展開できるよう、工夫をしていただきたいと思います。

都市整備局都市基盤部交通プロジェクト担当課長（事務局）： 事務局としても重要なことだと認識しています。各事業者と、現場に則した形で統一を図れるよう、施工時に色について迷うことがないように進めていきたいと思っています。

赤瀬専門アドバイザー： 資料 4-1 の整備計画案に LED 化の推進が記載されています。すでに鉄道事業者が LED 化を進めている状況にあり、視認性を高める上でとても効果的です。例えば最近の東京メトロのサインは非常にきれいで色むらがなく、高質なものが展開されはじめています。そうした質の確保も全域で実現できたらよい結果を生むと思います。

岸井隆幸座長： ぜひよろしくお願ひしたいと思います。せっかくの機会ですから他の駅の状況についても少しご紹介します。東京駅は概ね方針がかたまり着手されています。渋谷は現在検討中ですが、基本的には新宿のルールを尊重するということです。ただ、新宿ほど複雑な乗換えではないので、方面別ではなく直接鉄道を案内する方がわかりやすいという議論が出ています。また、新宿よりも縦方向、高さの関係が複雑なので、このことについて補足するものを提供しないと、自分が何階にい

るのかわからないと状況が生じるのではないかということで、今そのことについても検討をしているところです。池袋は比較的通路が直行しているため、まずは東口と西口を基準とし、東の北、東の中央、東の南といった表現方法で位置をわかりやすくしていこうということです。池袋の場合は出口を示すことでかなりわかりやすくなるのではないかという議論を進めています。一方で、渋谷が現在取り組んでいる内容で、ターミナルのエリアを出た街の中のサインをどうするかという議論があります。駅前広場くらいまでだけでなく、その先の街のサインもできれば同じものがよいという話です。難しいことではありますが、多様な関係者と調整しながら来年度早々に取り組むとのこと。新宿も駅の議論がここまで進んだので、今後は外側をどうするかということも検討していくことになるのだらうと思います。ピクトグラムや表現については新宿のルールをベースとして同じものになります。背面ボードの色などはその街らしさを表現したものになることもあるかと思いますが、迷うことにはならないようにということで進めているとのこと。他の駅についても各社ご協力をぜひお願いいたします。また、これから工事を進めるなかで、ご利用の方々からご不満の声も出てくるだらうと思います。途中段階なので一貫性がないといったことも言われる可能性もあります。ある一定のルートはできる限り一気に仕上げて不便のないように進めていただけたらと思います。マップは比較的早く対応できるかと思いますが、それをもって多くの方々に新宿をわかりやすくご利用いただくということになるかと思いますが、来年度は各事業者に負担がかかるかと思いますが、よろしく願いいたします。この協議会は今後どのようなのでしょうか。

都市整備局都市基盤部交通プロジェクト担当課長(事務局)：事務局としては情報共有の場は重要だと思っています。新宿ターミナルも様々な改変が今後もあるかと思っていますので、その度に有効に機能していくのではと思いますので、引き続き開催させていただければと思っております。

岸井隆幸座長：2020年のオリパラをめぐることは、通常の対応と異なることも必要となるかもしれませんが、そうした場合にもぜひ力を合わせて進めていかれたらと思います。

都市整備局交通政策担当部長：本日は整備計画とりまとめいただき、ありがとうございました。今、座長からもお話がありましたように来年度以降はそれぞれ整備が始まるということで、ますます核論に入ってまいります。この場、また、個別の相談を密に行わせていただきまして、しっかりと整備が進んでいくように努めてまいります。どうぞよろしく願いいたします。本日は年度末の大変お忙しい中ご出席いただきましてありがとうございました。これをもちまして第6回新宿ターミナル協議会を終了させていただきます。

以上

新宿ターミナル協議会（第6回）

出席者名簿

	役職名	出欠
座長	岸井隆幸 日本大学大学院理工学研究科教授	出席
専門アドバイザー	赤瀬達三 株式会社黎デザイン総合計画研究所代表取締役	出席
委員	国土交通省関東地方整備局東京国道事務所長	出席
委員	東京都都市整備局都市基盤部長	出席
委員	東京都都市整備局交通政策担当部長	出席
委員	東京都建設局道路保全担当部長	代理
委員	東京都交通局企画担当部長	出席
委員	新宿区都市計画部長	代理
委員	新宿区みどり土木部長	出席
委員	東日本旅客鉄道株式会社東京支社総務部企画部長	代理
委員	東京地下鉄株式会社鉄道本部鉄道統括部長	代理
委員	西武鉄道株式会社鉄道本部計画管理部長	出席
委員	京王電鉄株式会社鉄道営業部長	出席
委員	小田急電鉄株式会社交通企画サービス事業本部執行役員交通企画部長	出席
委員	株式会社ルミネ開発企画部長	出席
委員	新宿サブナード株式会社総務部開発推進担当部長	出席
委員	京王地下駐車場株式会社取締役事業部長	出席
委員	一般社団法人東京バス協会理事長	出席
委員	一般社団法人東京ハイヤー・タクシー協会専務理事	出席
委員	一般社団法人東京個人タクシー協会副会長	出席
委員	公益財団法人東京タクシーセンター指導部長	出席
オブザーバー	国土交通省鉄道局都市鉄道政策課駅機能高度化推進室長	代理
オブザーバー	国土交通省都市局街路交通施設課街路事業調整官	代理
—	国土交通省国土政策局国土情報課	出席